

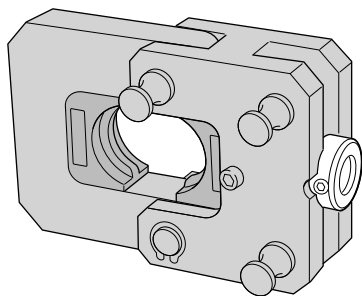
## 取扱説明書

### 用途

- コードレス圧着機 VC 18DBL に取付けて、T 型コネクタの圧縮を行う

# コードレス圧着機用 圧縮ヘッド

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



安全上のご注意	1
各部の名称	2
仕様	3

はじめに

圧縮ヘッド・ダイス(別売部品)の取付け	5
圧縮する	7

使い方

保守・点検	11
故障診断	12
ご修理のときは	裏表紙

その他

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

## ⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」、「⚠注意」、「注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

**⚠警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

## 安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

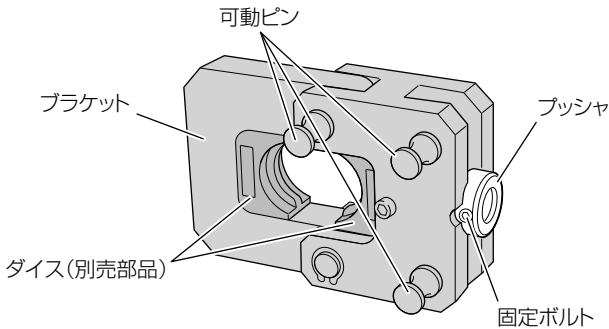
### ⚠警告

- ① コードレス圧着機の取扱説明書を良く読んでから使用してください。
- ② 指定された用途以外に使用しないでください。
- ③ コードレス圧着機への取付けや使用方法などは、取扱説明書に従ってください。
- ④ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。  
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- ⑤ スイッチ操作時は、圧縮ヘッドの可動部に指を触れないでください。  
けがの原因になります。
- ⑥ 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。  
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑦ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。  
けがの原因になります。

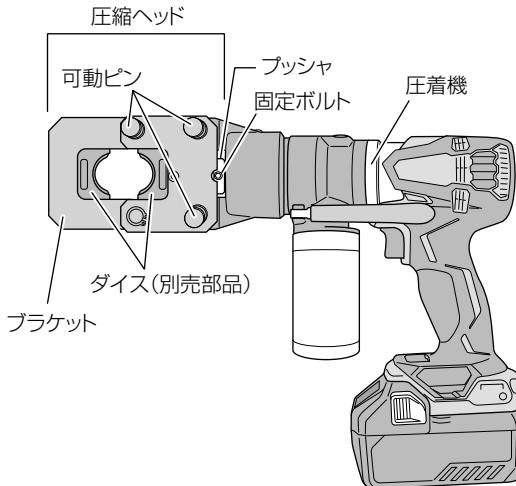
## ⚠ 警告

- ⑧ 通電中の電線には使用しないでください。  
感電の恐れがあります。
- ⑨ 作業中は、工具を人がいる方向に向けたり、手や顔を近づけたりしないでください。  
破損した場合、破片が飛散し、けがの恐れがあります。

## 各部の名称



### 圧縮ヘッドを圧着機に取付けた状態

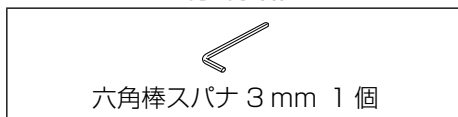


# 仕様

名称	圧縮ヘッド TH 240
使用できる電動工具	コードレス圧着機 VC 18DBL
圧縮能力*	T型コネクタ T-20～T-240
寸法(長さ×高さ×幅)	90 × 143 × 68 mm
質量	2.0 kg (ダイス含まず)

\* ダイスは別売部品です。

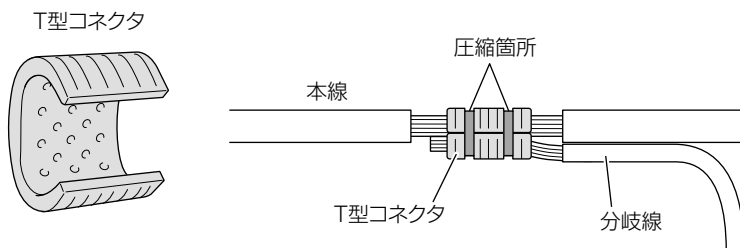
## 付属品

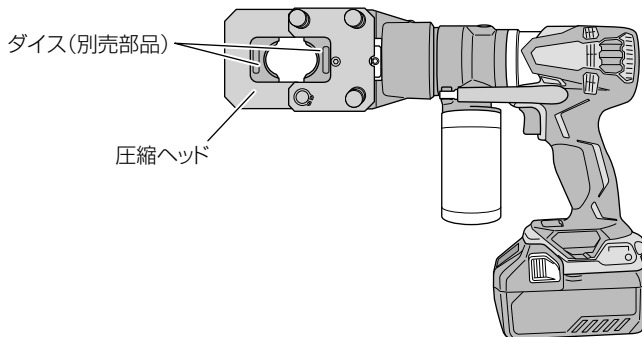


## T型コネクタと電線の組合わせ表

分岐線 (mm <sup>2</sup> ) 本線 (mm <sup>2</sup> )	2 (φ1.6)	3.5 (φ2.0)	5.5 (φ2.6)	8	14	22	38	60	100
14	20	20	20	26	44	—	—	—	—
22	26	26	44	44	44	44	—	—	—
38	44	44	44	60	60	60	76	—	—
60	76	76	76	76	76	98	98	122	—
100	122	122	122	122	122	122	154	190	240
150	154	154	190	190	190	190	190	240	—
200	240	240	240	240	240	240	240	—	—

\* 表中の数字は、T型コネクタのサイズを示します。(ex.20はT-20)



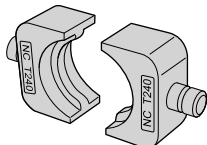


圧縮ヘッド・ダイス(別売部品)・電線の組み合わせ表

圧縮ヘッド	ダイス(別売部品)	適用コネクタサイズ	適用電線断面積 (mm <sup>2</sup> )	圧縮箇所数
TH 240	T-20	T-20	14 ~ 20	1
	T-26	T-26	21 ~ 26	1
	T-44	T-44	27 ~ 44	1
	T-60	T-60	45 ~ 60	2
	T-76	T-76	61 ~ 76	2
	T-98	T-98	77 ~ 98	2
	T-122	T-122	99 ~ 122	2
	T-154	T-154	123 ~ 154	3
	T-190	T-190	155 ~ 190	3
	T-240	T-240	191 ~ 240	3

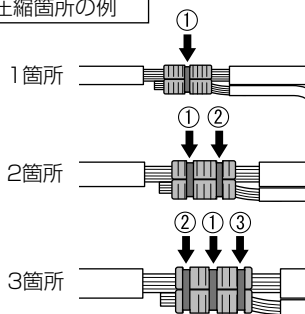
※ ダイスは、各1組(2個セット)です。

ダイス(別売部品)



※ T型コネクタ専用です。  
C型コネクタは使用できません。

圧縮箇所例



# 圧縮ヘッド・ダイス（別売部品）の取付け

## ⚠ 警告

圧縮ヘッド・ダイスの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

**1** 本体の戻しレバーを押し、ラムを初期位置に戻します。

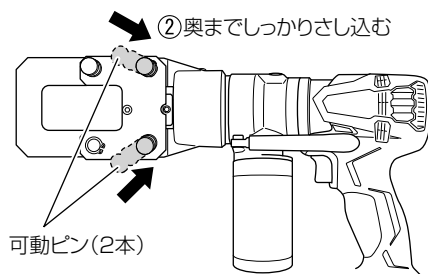
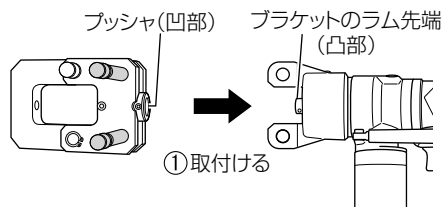
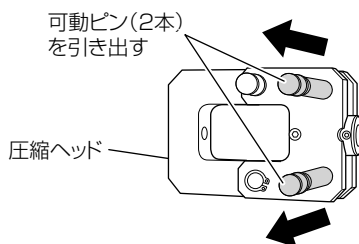
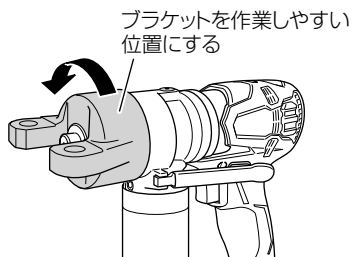
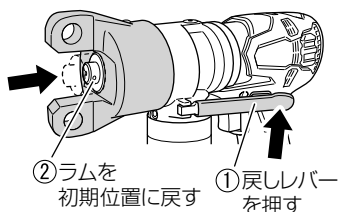
**2** 本体のブラケットを、先端から見て左方向（反時計回り）に回転させます。  
ブラケットは、180°回転します。作業のしやすい位置に合わせてください。

**3** 圧縮ヘッドの可動ピン（2本）を引き出します。

**4** 本体のブラケットのラム先端（凸部）に、圧縮ヘッドのプッシャ（凹部）が合うように取付け、可動ピンを奥までしっかりとさし込みます。

**注** 可動ピンは、しっかりとさし込んでください。

可動ピンのさし込みが不十分のまま圧縮作業を行うと、思わぬけがの原因になります。



- 5** ラム先端に圧縮ヘッドのプッシャを奥までさしこみ、付属の六角棒スパナでプッシャの固定ボルトを締めてください。

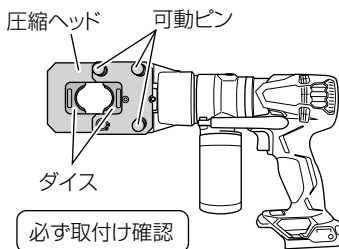
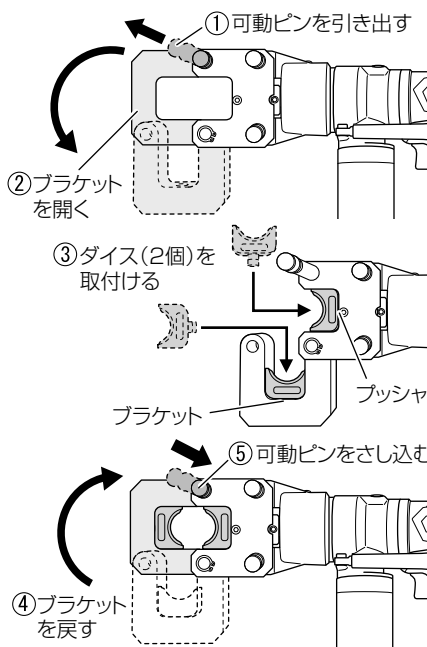
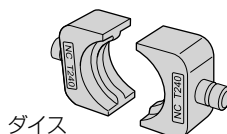
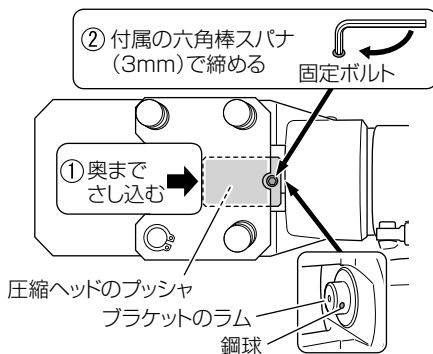
**注** ラムのはめ込み部に鋼球があります。プッシャの固定ボルトでこの鋼球を押さないようにしてください。もし鋼球にかかる場合は、工具本体のブラケットを少し回転させ、鋼球を押さえない位置で締め付けるようにしてください。

- 6** 使用する T 型コネクタに適合するダイスを選択してください。(P.3「仕様」参照)

**注** ダイスは、正しく選択してください。間違ったサイズのダイスや、異なるサイズのダイスを組合わせて使用すると、接続不良または本体が破損し、思わぬけがの原因になります。

- 7** ダイス (2 個) を圧縮ヘッドのブラケット、およびプッシャに取付けてください。

- 8** 圧縮ヘッド・ダイス・可動ピンが正しくセットされているか確認してください。



# 圧縮する

## ⚠ 警告

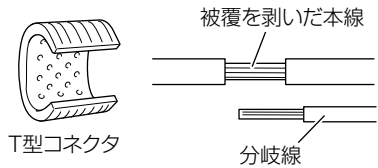
- 圧縮ヘッド・ダイスの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
- スイッチ操作時は、圧縮ヘッドの可動部に指を触れないでください。けがの原因になります。
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、工具本体から蓄電池を取りはずしておいてください。

## ⚠ 注意

- タンクグリップの底穴をふさがらないでください。圧力規制弁が作動する音が聞こえにくくなります。
- 空押し操作（部材を入れない状態での圧縮動作）はしないでください。ポンプ駆動の確認を行う場合は、できるだけ少ない回数にしてください。

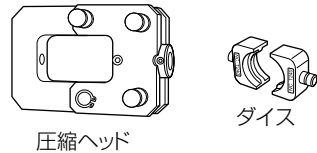
## 1 圧縮するT型コネクタ（端子）・電線を準備する

被覆を剥いだ電線と、圧縮するT型コネクタ（圧縮端子）を準備してください。（P.3「仕様」参照）



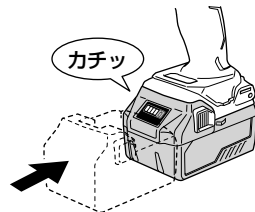
## 2 圧縮ヘッド・ダイスを取付ける

（P.5「圧縮ヘッドの取付け」参照）



## 3 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。

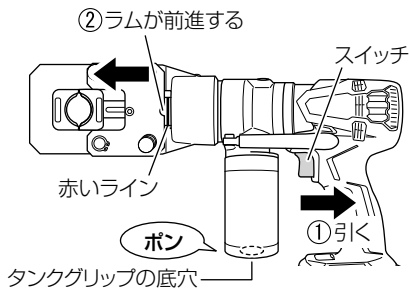




# 4

## ポンプ駆動の確認

- 蓄電池取付け後、スイッチを引いてください。  
モーターの回転音とともに、ラムが前進します。
- ラムの外径に赤いラインが見え、さらにスイッチを引き続けると、タンクグリップの底穴より「ポン」という圧力規制弁の開放音がします。この圧力規制弁の開放音が聞こえたら、ポンプは正常に動作しています。



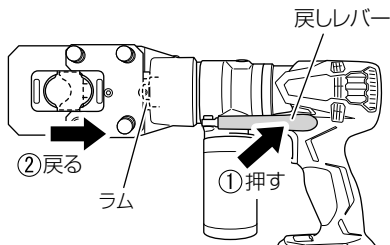
# 注

操作を続けてもラムの外径の赤いラインが見えないときは、一旦作業を中止し、蓄電池を充電した後、再度作業をやり直してください。  
充電してもラムの外側の赤いラインが見えないときは、故障の恐れがあります。

# 5

## 戻しレバーを押し、ラムを初期位置に戻す

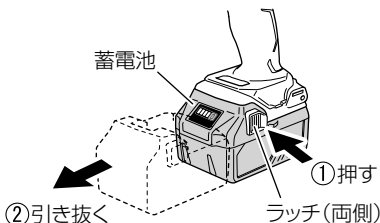
戻しレバーを押し、ラムを初期の位置まで戻します。



# 6

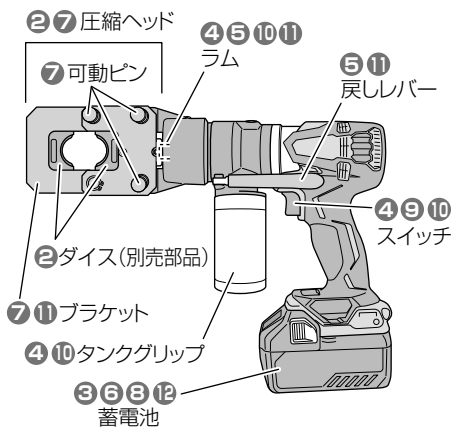
## 蓄電池を取りはずす

下図の向きで、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



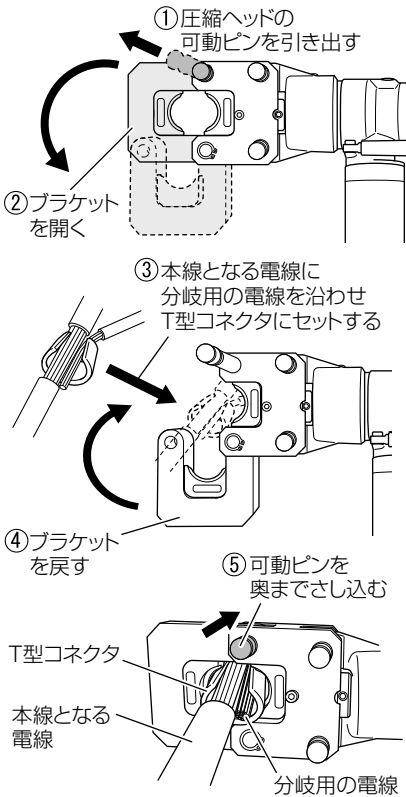
# 注

圧力規制弁が働かない、またはいつもより早く圧力規制弁が働いたと思われたときは、お買い求めの販売店までご連絡ください。  
圧力規制弁の不調は、圧縮不良などの原因となります。



# 7

## T型コネクタ・電線を 圧縮ヘッドにセットする

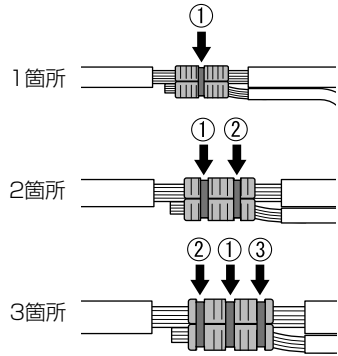


# 8

## 蓄電池を取付ける

P.7 ③を参照してください。

### 圧縮箇所例

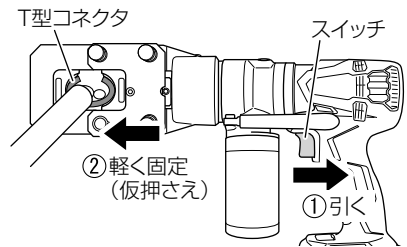


圧縮箇所数は、P.4の表を参照してください。

# 9

## スイッチを軽く引き、コネクタ (圧縮端子)を仮押する

- コネクタの圧縮位置を決め、本体のスイッチを引いて、コネクタを軽く固定(仮押さえ)します。



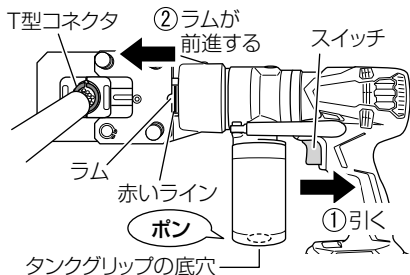
- 圧縮するコネクタの位置に問題がないか、確認してください。

### 注

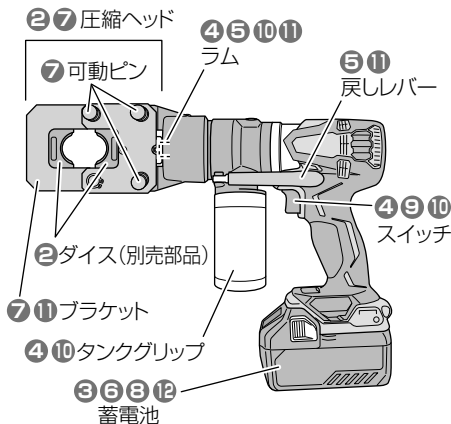
スイッチの引込み量がわずかなとき、「ピー」という音が発生します。モーターのうなり音であり、工具本体の異常ではありません。

## 10 スイッチを引き圧縮する

- 3本の可動ピンが奥までさし込まれているか確認し、本体のスイッチを全て引き込んでください。
- モーターの回転音とともに、ラムが前進します。
- ラムの外径に赤いラインが見え、さらにスイッチを引き続けます。「ボン」という圧力規制弁の開放音が聞こえたら、圧縮完了です。繰り返しても、圧縮効果は変わりません。

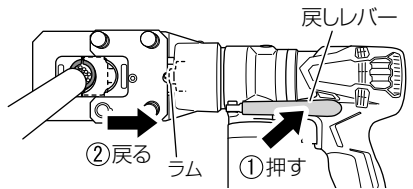


- 注** 圧縮完了後、赤いラインが見えていることを必ず確認してください。見えていない場合は、圧縮不良の恐れがあります。

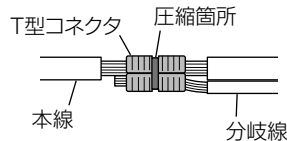


## 11 コネクタと電線を取り出す

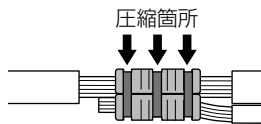
- 戻しレバーを押して、ラムを初期の位置まで戻します。
- 圧縮ヘッドの可動ピンを引き、ブラケットを開き、圧縮したコネクタと電線を取り出します。



- ③ 可動ピンを引き出す
- ④ ブラケットを開く
- ⑤ 圧縮したT型コネクタと電線を取り出す



- 圧縮が2～3箇所の場合は、9～11の作業を繰り返してください。



## 12 蓄電池を取りはずす

- P.86を参照してください。

# 保守・点検

## 警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体体から抜いてください。  
また、圧縮ヘッドを工具体体から取りはずしてください。

### ● 圧縮ヘッドの点検

各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。  
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります  
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

### ● ダイスの点検

摩耗したり破損したダイスをそのまま使用すると、圧縮不良となります。使用前に点検して、異常がある場合は早めに新品と交換してください。

### ● 圧縮ヘッドの清掃

使用後は圧縮ヘッドの汚れをやわらかい布か、または石けん水をつけた布などで拭いて落としてください。防錆油などをウエスにしみこませ、圧縮ヘッドの表面を拭いてください。

とくに摺動部にはごみなど異物が付着していないか確認し、いつもきれいな状態にしてください。必要に応じて潤滑油を塗布してください。

### ● 作業後の保管

作業後は、温度が 50℃未滿で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
  - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
  - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
  - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

# 故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

状 況	原 因	対 策
圧縮不良	ダイスにごみが付着している	ごみを取り除いてください。
	ダイスが摩耗している	新品と交換してください。
	サイズが異なるダイスを使用している	適切なサイズのダイスを取付けてください。

※ 工具本体（コードレス圧着機）の取扱説明書に記載の「故障診断」も参考にしてください。





# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。  
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ  
お問い合わせください。

## お客様メモ


お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理  
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

## 全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822**

※携帯電話からはご利用になれません。  
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。  
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、  
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点  
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに  
アクセス

バーコードリーダー機能付きの  
携帯端末より読み取ることで、  
最新の全国営業拠点をご確認い  
ただけます。



# 工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)  
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>